参考資料

中川議員提出資料

平成１７年5月３１日

「新産業創造戦略2005」（仮称）策定に向けた基本的考え方

・昨年5月に策定された「新産業創造戦略」の具体化を図るべく政策面を進化させた「新産業創造戦略２００５」（仮称）を策定予定。
・策定に向けた考え方としては、燃料電池、ロボット等重点7分野の実現に向けた施策の更なる具体化に加え、以下の3点の施策を重点的に実施。

①高度部材・基盤産業（サポーティングインダストリー）への施策の重点化 ⇒ 「高度部材産業・ものづくり中小企業強化プログラム」（仮称）
②人材、技術等の蓄積・進化
③知的資産重視の「経営」の促進

1．重点7分野の施策の更なる具体化

＜先端的な新産業分野における新たな目標＞

①燃料電池：　新たな戦略シナリオとして、定置用の市場拡大、自動車用の技術的課題のブレイクスルーの実現

②情報家電：　生活・産業・行政・社会的課題の各分野に競争力・課題解決力をもたらす新たな「プラットフォーム・ビジネス」を情報家電を基軸に展開

③ロボット：　安全基準策定、需要開拓支援等による、生産工程の一層のロボット化とサービスロボット市場の創成

④コンテンツ：　日本をアジア全体のコンテンツ制作・流通のハブとする「ソフトパワー」戦略の実現

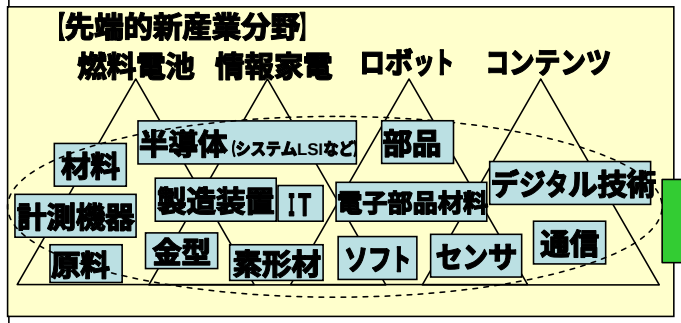
＜市場ニーズ対応型分野の新たな目標＞

⑤健康・福祉：　地域発の競争力あるヘルスケア産業群の創造に向けて、関係省庁との連携強化などにより事業環境を整備

⑥環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ：　我が国の優れた環境・リサイクル技術の世界市場への展開に向けて、国際的なルール整備、国際標準化等を実施

⑦ﾋﾞｼﾞﾈｽ支援：　サービスの一層の高度化・多様化の促進に向けて、先進事例の抽出、先導需要の創出

2．重点分野を支える共通産業への政策展開



【市場ニーズ対応型分野】
- 健康・福祉・機器・ｻｰﾋﾞｽ
- 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ・機器・ｻｰﾋﾞｽ
- ビジネス支援サービス

【地域再生の産業分野】
- 先端産業
- ものづくり産業
- 集客交流・健康ｻｰﾋﾞｽ産業
- 食品産業

○高度部材・基盤産業（サポーティングインダストリー）への施策の重点化

～先端的新産業分野等の競争力の源泉となる高度部材産業集積と、それを支える多様な技術を担う「匠の中小企業」を強化するための戦略を定め、重点的に支援～

・重要技術毎に技術開発・実用化支援、人材育成・確保等、ものづくり技術強化に向けた中小企業政策を抜本的に強化
・世界トップレベルの高付加価値部材の創成と擦り合わせの連鎖を誘発する産業集積の強化に向けて、先端的基盤技術の研究開発、産学官のものづくりネットワーク形成等に対する支援を重点的に強化

3．横断的政策の進化

○人材、技術等の蓄積・進化

～競争力を支える人材の育成・活用、出口を見据えた研究開発の促進等～

・ものづくり分野・重点分野における専門職大学院の設置等
・技術戦略マップを活用した効果的な研究開発、経営資源の潜在力を引き出すIT活用推進
・人材・研究開発・ITの投資促進税制
・海外からの高度人材流入　など

○知的資産重視の「経営」の促進

～知的資産重視の経営を行い、それが市場からも適正に評価され、企業価値を高めるメカニズムの構築～

（注）知的資産：人材や技術など財務諸表に現れない「見えざる資産」

・知的資産の評価・管理・活用・開示のための手法づくり（「知的資産経営開示指針」の策定等）
・コア人材・コア技術の適正管理（「営業秘密管理指針」の改訂等）　など